

# 県外派遣報告書

栃木県バスケットボール協会 審判部

大会名	第34回関東スポーツ少年団ミニバスケットボール大会	開催地	東京都(駒沢体育館・世田谷体育館)
報告者名 (所属連盟)	伊東龍一・赤羽沙耶・田中由紀子(ミニ連)	派遣期間	平成27年 7月24日(金)～26日(日)
参加者 (所属都県)	講師 田島寛治・細田知宏 関東ミニ連審判長 山野辺智晴 《茨城》副審判長 飯島祐紀 派遣 鈴木益美・宮内潤 《栃木》審判長 伊東龍一 派遣 赤羽沙耶・田中由紀子 《群馬》副審判長 攪上達也 派遣 萩原篤・大津彬子	《埼玉》委員長代理 竹澤友美 派遣 浜田智之・小林恵 《千葉》審判長 相木康岳荒木正 派遣 小幡浩志・久我覚 《山梨》審判長 大木裕一 派遣 山本恵一・中田泰邦 《神奈川》審判長 宇田川晶彦 副審判長 萩原悠太・宮崎興史	《東京》審判長 飯塚剛 審判員 松浦恭寿・出嶋博史 上杉侑里子・関水直樹・岸桃子 藤野裕久・山崎一樹・栗竹裕幸 井澤元花・三角隆至・鈴木拓人 長沼越百・守屋梨沙・松浦拓未 橋本昌樹・弓削田博是・川畑睦

## 【審判会議内容】

1 あいさつ 関東ミニバスケットボール連盟審判委員会 委員長 山野辺智晴  
東京都ミニバスケットボール連盟審判委員会 委員長 飯塚剛

## 2 講師紹介

3 講義 東京都バスケットボール協会 田島寛治

テーマ 正しい判定、説得力のある判定をするために

- ・ミニの審判を見ていると上手であったり慣れていたりと感じさせられる。
- ・今回のようなブロック大会では(他都県の人と吹くと)、いつもと違う感覚になることはないか。
- ・都県で選ばれて来ていることを忘れずに、楽しみつつ緊張感をもって取り組んでほしい。

### ○判定とは

- ・ルールに則って、正しいか正しくないか判断する。(吹く判定、吹かない判定)
- ・見極めるために大切なことは、相手の位置を遠いところから吹くのではなく、良い位置、プレイの近くで、近い審判が良いか悪いか判断すること。
- ・審判が吹いたものが、吹かなかったものが正しいものでなければならない。
- ・選手が良いバスケットができるようにするために審判がいる。選手やコーチのアピールに対しても同じような心理状態であることが大切。
- ・相手に自分の目の前を吹かれてしまったとき、スペースがとらえきれなかったのであればありがたいの気持ちで。
- ・いろいろなことが起こることに対して、精神的なものが揺れると正しい判定ができなくなる。

### ○説得力のある判定

- ・一つの笛で信頼関係を崩してしまう。こつこつと丁寧に行っていくことで信頼関係が作られていく。
- ・審判が自分に厳しく取り組んでいくことが大切。

### ○今大会の課題

- ・良い位置を求めて動いて判定する。
- ・プレイを感じる。

## 4 審判割り当て発表

## 5 競技場の確認事項

### 【感想・県内審判員へ伝えたいこと】

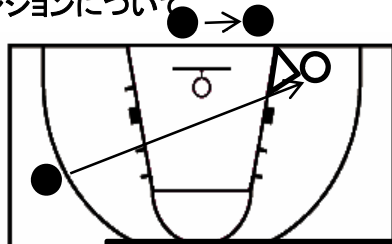
- ・東京都は若手、中堅、ベテランとバランスが良く(20代が多数)、一人一人の意識が高いことが感じられた。東京都のミニ連の審判員にA級、2A級の候補者がいて、全体のレベルも上がってきていると感じた。
- ・ゾーンを推奨するという方向で進んでいるが、今大会は、ゾンプレス、ゾーンを使うチームが多かった。JBAからゾーンを禁止にするという通達はまだ来ていないが、ゾーン禁止の流れは変わらない。だから、ゾーン禁止に対応していく必要がある。解説DVD、資料等はほぼ準備ができている模様。役員、各チームの指導者、審判員においてはそのことを知っておいていただき、ゾーン禁止への準備をしてほしい。
- ・平成27年度の冬関東は、H28. 1. 9(土)～11(月)に茨城県(ひなちなか体育館、水戸青柳体育館)で開催。
- ・平成28年度の夏スポ少関東、冬関東は本県主催となる。近いうちにエントリーについての連絡をする。吹いてみたい方は検討をしていただきたい。その際、昨年度と今年度の実績表の提出は必須とする。

# 県外派遣 審判ミーティング記録表

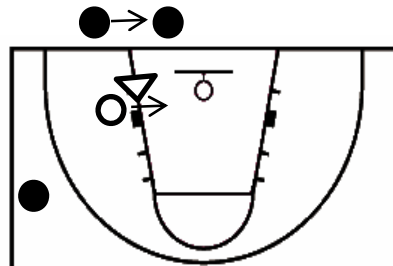
割当日:平成27年 7月25日・26日

審判員名	伊東 龍一	相手審判・所属	(副)小幡浩志(千葉) (副)大津彬子(群馬)
カード	25日 女子予選リーグ 開桜(東京) vs 桜丘(神奈川) 26日 女子2位リーグ 猿橋(山梨) vs 成田スネーキーズ(千葉)		

## ◇ ケース・ポジションについて



相手(リード)が振られたため、足元の確認ができないと判断し、トラベリングを遠い位置から吹いた。吹かない方がよかったかもしれない。



相手(リード)が動きながらのため確認できなかったプッシングをトレイルから判定した。



リバウンドの後、相手がブラインドだったために、踏みとどまり、悪い手を取り上げた。



手を使って押し込み距離を取るオフェンスファウルを取り上げることができた。

## ◇ ミーティングの内容

### 《女子予選リーグ 開桜(東京) vs 桜丘(神奈川)》

- ・試合が荒れないように気を付けた。激しい試合であったが荒れたものではなかった。
- ・不必要な笛のないように心がけた。
- ・しっかり動いて判定していた。ただ、リードであと半歩、一歩、動けるとよい。
- ・相手のエリアであっても相手がブラインドで確認できなかったものを取り上げることができた。
- ・4Qの試合の均衡しているところでの相手エリアのトラベリングはどうだったか。100%、120%であればまだよいが、微妙だった。

《審判主任》宇田川晶彦(神奈川県)

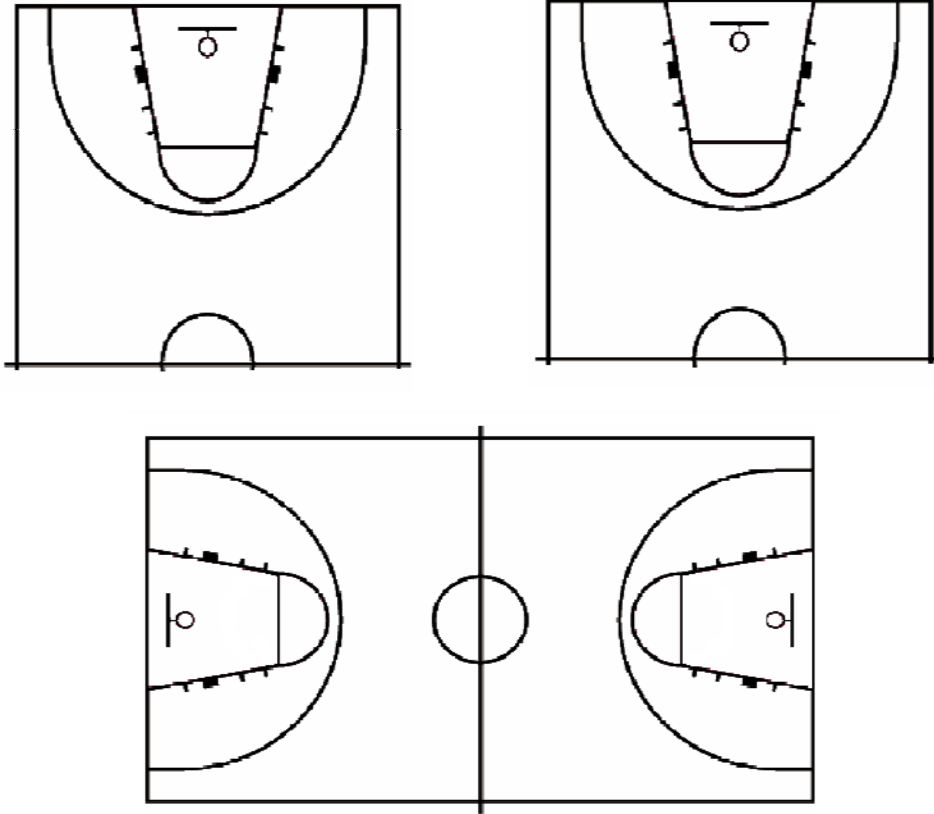
### 《男子2位リーグ 猿橋(山梨) vs 成田スネーキーズ(千葉)》

- ・大きな取りこぼしがなく、ゲームがスムーズだった。
- ・悪い手の使い方気になるものがあり、取り上げることができたが、1回目で笛が入るとよいものがあった。
- ・手を使って相手との距離を作ったオフェンスファウルをしっかり取り上げられた。

《審判主任》竹澤友美(埼玉県)

審判員名	田中 由紀子	相手審判	25日①(主)久我 覚氏(千葉県) 26日②(主)飯塚 剛氏(東京都) ③(主)出島 博史氏(東京都)
カード	25日 ①大野(茨城県) 対 行田ラビッツ(埼玉県) 26日 ②藤沢元町(神奈川県) 対 千代田(群馬県) 26日 ③開桜(東京都) 対 リトルスターズ(東京都)		

◇ ケース・ポジションについて



◇ ミーティングの内容

①まずは、フィットネストレーニングが課題である。

細かくファウルをとりすぎており、ゲームの流れが途切れてしまう。当たればファウル、という状態である。ゲームのプレイヤーの意図していること、オフェンスディフェンスの勝ち負けをもっと考えて判定をする必要がある。また、自分の判定を選手同様、一生懸命審判に望み、動き、考え、こだわりをもって判定をしてほしい。スペース捉える最後の一步が出ない。それはメンタル面が弱いからと感じた。あと一步動けるようメンタル面も強化してほしい。

②自分の目の前の判定をもっとしっかりすること。

ルーズボールのところをみないですぐにリードに入ってしまうところがあるのでしっかり残って見てほしい。

ファウルを取り上げたときの姿は見栄えがよいが、レポートはしっかり手を止めて伝えた方がよい。

シュートやドライブに対するブロッキングのファウルをもっと判定してほしい。

リバウンドファウルの判定に相手とのばらつきがみられた。相手の基準に乗って判定してほしい。

集中するとリードが近く、白ファウル→アウトオブバウンズ白になってしまったことがあった。より良い距離を追求してほしい。

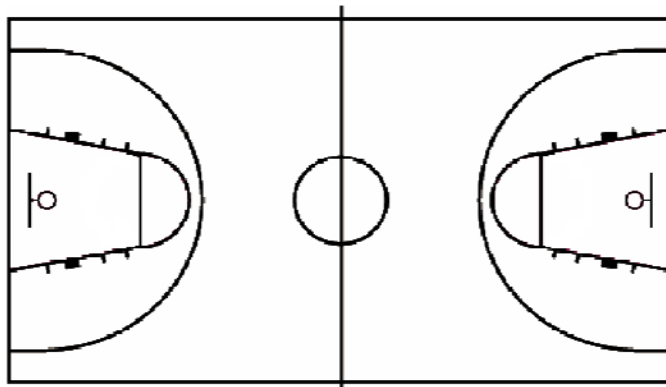
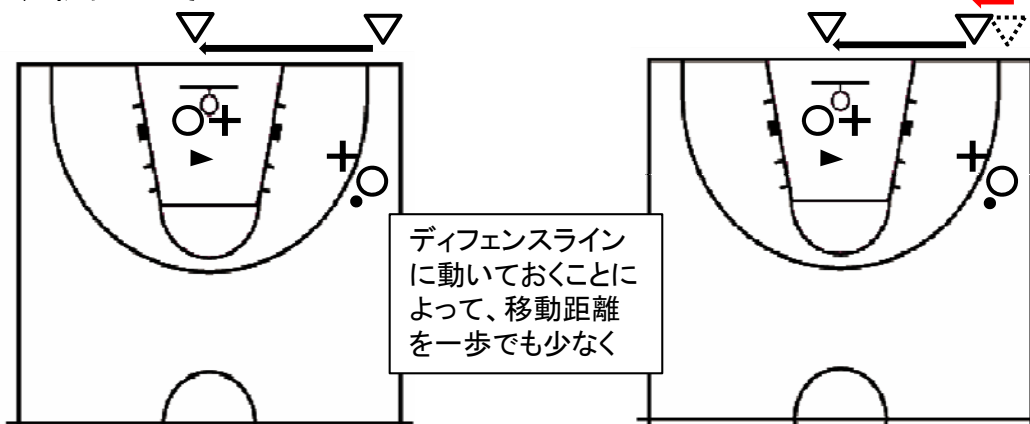
③終わり方の部分でもっと笛をいれるべきところ、判定しなければならないところがあったと思う。

目の前のところの判定をもっと丁寧にしてほしいと感じた。

4クォーターのラストの部分、ごちゃごちゃとして何人が転がった部分はダブルファウルでも良かったと思う。その選択肢があったかどうか。全体を通して、もっと自分の色を出してもよいと感じた。大人しすぎる印象である。

審判員名	赤羽沙耶	相手審判	①(主)竹澤友美 ②(主)長沼越百
カード	①寿一藤沢本町(男子) ②千代田一下吉田BROS(男子)		

◇ ケース・ポジションについて



◇ ミーティングの内容

①・相手審判のジャッジにすり合わせようとする努力は良かった。

・最後までスペースを捉えようとしていた。だが特にリードで最初のスペースの捉え方は良いが、面が変わった時に対応できていない。

・リードで相手審判が見ているのに無理に右に見に行くと二人で同じ所を見ている時があった。

・ルーズボールになった時の寄りが遅い。

・リードでリバウンドの時に中に入ってしまうクセがある。 《審判主任》相木康岳

・エリア4にボールがある時のリードのスペースの見方。 《相手審判》竹澤友美

②・ドライブしてきた時のディフェンスの受け方(ブロッキングorチャージング)の基準ができていない。

・ジェスチャーをスマートに。 《審判主任》細田知宏